

当コーナーは、ご応募いただいた10名の診断士の方に持ち回りで会員執筆の書籍を評していただいております。

これでいいのか現代経営のあり方 経営ニューグローバルスタンダード



釣島平三郎 著
コスモ教育出版
A5判 90頁
定価 1,050円(税込)

“全個一如”という言葉をご存知でしょうか？全体のなかに部分があり、部分のなかに全体がある、という意味である。

グローバルスタンダードの主導権を握っているアメリカと、妖怪のようなグローバルスタンダードに振り回される日本。サブプライム問題を例にあげるまでもなく、アメリカがくしゃみをすれば日本は風邪をひく。グローバルスタンダードは、アメリカのエリートが考えだした西洋合理主義の白黒をはっきりさせる二元論と要素還元主義であると、本書は説く。

従来の日本的経営では経済の効率性が劣り、グローバルな大競争時代には通用しなくなった。一方で、経済効率がよくても理念なき短期志向のグローバルスタンダード経営では、長期的に会社を繁栄させることは期待できない。

この両者の長所を活かした経営ニューグローバルスタンダードを創ろうというのが、本書の趣旨だ。

二元論的な対立の世界ではなく、2つにみえても実は1つであるという超二元の考え方が、ニューグローバルスタンダードの基本思想であると著者はいう。難しいことではない。社会と会社は別々のものではなく、社会がよくなれば、会社もよくなる。また、会社がよくなれば社会もよくなる、と考えればよい。まさに全個一如である。

ロジックで白黒つけようとしがちなわれわれ診断士必読の書である。

(著者は大阪支部会員)

評・清永 健一
(大阪支部)



リーダーの問題解決法 ～複雑な問題に対処するノウハウ



日沖 健 著
(株)同友館 A6判 188頁
定価 2,100円(税込)

クライアントには「経営幹部が日常業務に深く関与していると企業の成長はない」といいながら、自身は日常業務をスタッフに任せられずにいる『白袴の紺屋』である私には、耳の痛い話であった。本書で紹介されているツールに目新しさはないが、それをきちんと順序立てて紹介し、また各章の最後にケーススタディを用意していることは、非常に効果的であると思う。ケーススタディに一義的に解を与えることは困難だが、本書では読者のためにそこにも踏み込んでいる。問題解決プロセスを問題発見と問題整理・解決というシンプルな2段階に分けているのも心地よい。

リーダーのマインドセットに関する書籍は多いが、本書のように問題解決法というすぐに行動に移せる具体的な方法論に関する書籍のほうが有用であると思う。いくらリーダーとしての資質を教わっても、人間の資質は簡単には変わらないし、資質がなくてもリーダーシップは発揮しなければならない。であれば、本書で問題解決の具体的な手法を学び、それを実践すべきである。「地位が人を変える」という言葉が示すように、リーダーとしての行動をとっていると、資質までは変わらずとも少なくとも行動特性は変わり、最初は意識しなければできなかったリーダーの問題解決法が、無意識でもできるようになる。こうなれば、資質は問題ではない。本書は、自身がプレイし過ぎてはダメだとわかっているながら、行動に移せない日本の多くのプレイングマネージャーに贈る1冊である。

(著者は東京支部会員)

評・三田 泰久
(三重県支部)

